

ワイロック S ワイヤロープ緊張器

ワイロック S は、被覆ワイヤロープを親綱として使用することができる緊張器です

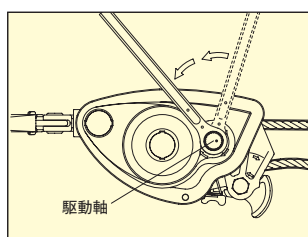
ワイロック S 緊張器付き被覆ワイヤ親綱

■特長

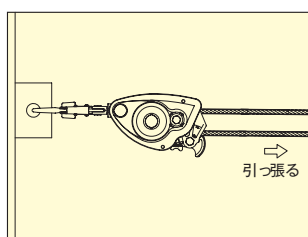
1. 被覆ワイヤロープの長さが調整できます。
2. ラチェットレンチ対応で、取り扱いが容易です。
3. 張力の調整ができます。
4. 親綱としての着脱が容易で、盛り替えがスムーズにできます。
5. 緊張器は、被覆ワイヤロープの被覆を傷付けず、また、ワイヤロープに癖が付かず再使用できます。
6. 被覆樹脂が透明によりワイヤロープの状態が確認できます。



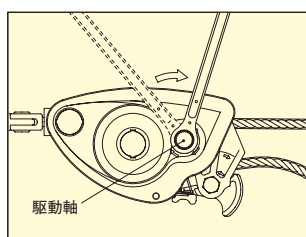
緊張器の操作について



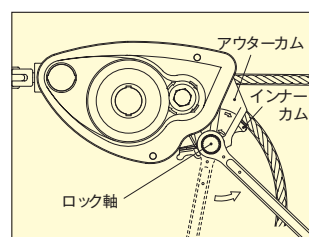
ロック解除ピースが外れていることを確認して、駆動軸を反時計回りに止まるまで回します。(この状態でシーブが全開します。ただし、回らない時は、シーブが全開になっています。)



被覆ワイヤロープを手で引っ張り、ある程度緊張させます。

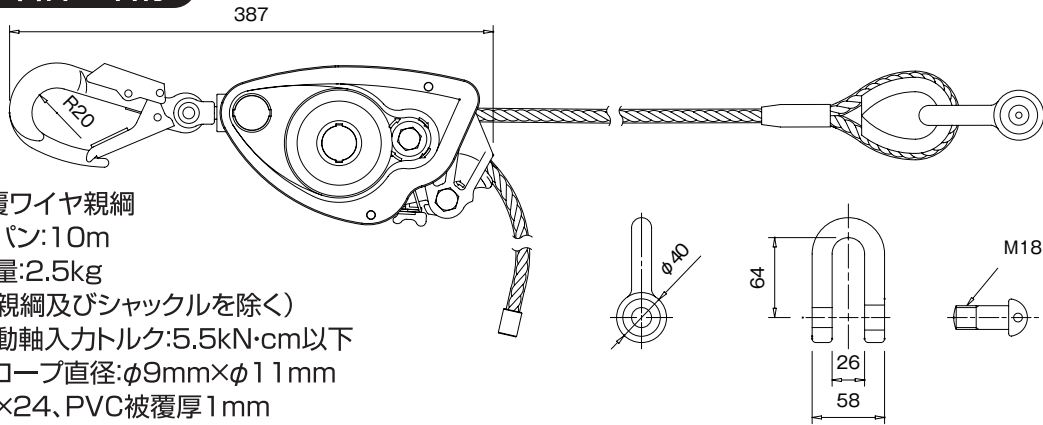


駆動軸を矢印方向(時計回り)に回して、被覆ワイヤロープがたるまないように締め込みます。(締め付けトルクは5.5kN・cm以下にしてください。)



ロック軸を反時計回りの方向に回し、インナーカムをアウターカムに収めて、被覆ワイヤロープをロックします。これで、ワイヤロープの設置が完了です。

仕様・構造と各部の名称

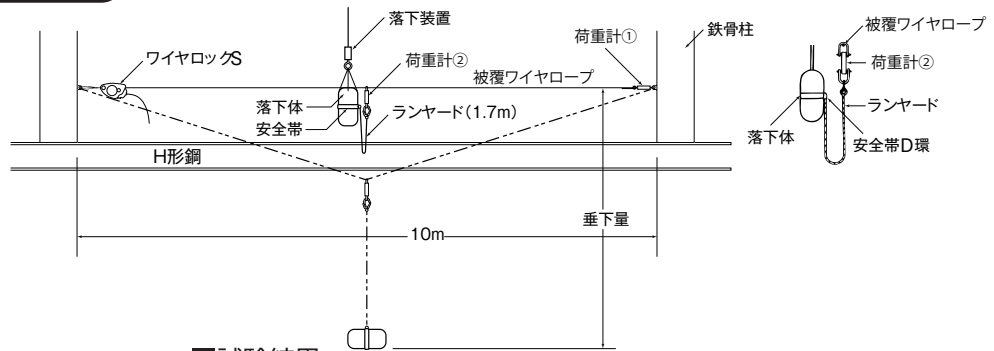


緊張器付き被覆ワイヤ親綱

- ・使用最大スパン: 10m
- ・緊張器の質量: 2.5kg
(被覆ワイヤ親綱及びシャックルを除く)
- ・緊張器部駆動軸入力トルク: 5.5kN・cm以下
- ・被覆ワイヤロープ直径: $\phi 9\text{mm} \times \phi 11\text{mm}$
JIS 6×24、PVC被覆厚1mm
- ・シャックル: JIS形 SC-16 溶融亜鉛メッキ
- ・シンプル: JIS A14

落下阻止性能試験

〈試験方法図〉



■試験条件

被覆ワイヤ親綱: $\phi 9\text{mm} \times \phi 11\text{mm}$
JIS 6×24、PVC被覆厚1mm
落下体: 85kg、100kg、110kg、130kg
(砂のう)
安全帯: A種安全帯(ランヤード1.7m)
荷重計: 東京測器研究所TLP-30KNB
動歪計: 東京測器研究所DC-104R
ビシグラフ: 東京測器研究所DC-7104

■試験結果

落下体	試験 No.	初期張力 (kN)	ワイヤ取付部	ランヤード	垂下量 (m)	ワイヤ部すべり(mm)	
			衝撃荷重 (kN) 荷重計①	衝撃荷重 (kN) 荷重計②		ワイヤ (入り)	ワイヤ (出)
85kg 使用	1	1.25	17.16	6.19	3.55	20	30
	2	1.20	18.03	6.45	3.55	15	25
	3	1.25	18.54	6.57	3.55	15	25
100kg 使用	1	1.20	19.32	7.08	3.35	20	30
	2	1.10	19.00	7.24	3.25	30	70
	3	1.20	19.35	7.38	3.25	10	50
100kg 使用	1	1.20	19.22	7.24	3.85	160	175
	2	1.20	21.93	8.74	3.90	10	30
	3	1.20	18.48	8.11	3.95	100	120
130kg 使用	1	1.15	23.47	9.57	3.70	10	40
	2	1.25	24.51	9.78	3.75	10	35
	3	1.25	18.66	8.63	4.55	150	190

※上記数値は実験値であり、保証値ではありません。